

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成29年11月29日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会 生涯学習課
-----	---------	-----	-------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成28年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ガサガサ体験教室 ・親子カニカニ観察教室 ・親子陶芸教室 ・ふれあいガラス絵付け教室 ・夏休み親子ものづくり教室 ・親子クラフトバンド教室 ・親子デコパージュ教室 ・折り紙飛行機教室 ・親子キャンドル教室 ・小学生パソコン教室 ・はじめての手話教室 など 		
施設内容	研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日：昭和63年6月1日 施設面積：1,230.39㎡ 建築物：鉄筋コンクリート2階建 施設概要： 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)		
職員体制	職員：所長1名 事務長1名 副所長1名 指導員1名 事務員1名 合計：5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		H27年度(決算)	H28年度(決算)	H29年度(予算)
収入	県支出金	19,573,490	19,878,368	20,982,000
	事業費収入	66,100	69,000	64,000
	収入計	19,639,590	19,947,368	21,046,000
支出	事業費	572,878	379,705	555,000
	管理運営費	7,970,233	6,948,963	8,200,000
	人件費	9,596,599	11,103,170	10,731,000
	消費税	1,499,880	1,515,530	1,560,000
	支出計	19,639,590	19,947,368	21,046,000
使用料収入		682,440	640,470	614,000

3 利用実績

(1) 利用団体数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均
団体数	891	859	986	1,029	1,032	959

(2) 利用者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均
人数	18,450	15,535	15,259	17,096	18,105	16,889

4 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○所長と副所長が率先して、近隣の学校を訪問して施設利用のPR活動を行うとともに、県外の大学などへの訪問を実施し、積極的な広報に努めている。 ○学校や地域との連携を密にし、主催事業を展開している。 ○伊野スポーツセンターとの連携により、中高生の勉強合宿や音楽合宿での利用が増えている。 ○新たに配属された職員の経験を活かし、新規事業として、初心者を対象とした「はじめての手話教室」を実施し、聴覚障害者に対する支援の輪を広げた。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○施設利用団体の代表者や主催事業参加者へのアンケートを実施するとともに、施設利用者との日常のコミュニケーションにより、ニーズの把握に努めており、要望に対しては、可能な限り対応を行っている。 ○年末年始及び年1回の消毒日以外は全て開館をし、利用者サービスに努めている。 ○主催事業の提案から実施、振り返りについて、職員の自主性を尊重することで、資質や指導力の向上を図っている。 ○PDCAサイクルを意識し、主催事業の振り返りとして、担当職員が掲示板での事業報告を行った。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ○事務室内のレイアウトを、来訪者が利用し易い配置や職員同士が風通しが良くなるように変更し改善を行った。 ○引き継ぎ事項などに抜けがないように、職員間で声をかけ合い、助け合いながら連携して日々の業務にあたっている。 ○電気器具のこまめな消灯や、施設敷地内の草引き等を職員が行うなど、経費節減に努めている。 ○AEDの設置により、緊急時の対応配備ができた。
④利用実績	○平成27年度と比較して、利用団体:3団体増加、利用者:1,009人増加となった。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度と比較して、施設使用料収入は約42千円の減収となった。 ○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に632円返還) 平成28年度決算額(県支出金):19,878,368円
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校への積極的なPR活動や、新たな主催事業の実施に向けた企画や検討を職員が一体となって取り組んでいることに加え、少ない職員体制のなか、一人ひとりの職員に過度な比重がかからないよう、施設長が注意を払い、人材育成を含めた楽しい職場環境づくりに取り組んでいる点は評価できる。 ○課題となっていた電話対応について、外部電話の一元化を図り、丁寧な対応を心掛けた結果、利用者アンケートでも評価が上昇した。 ○懇話会でのアドバイスを参考とし、速やかに事業化を実現した。 ○「宿泊や食事ができない」といった過去のイメージが払しょくされており、評価できる。 ○応募者が少ない新規主催事業については、速やかに事業の見直しを行い、「学校への持込事業」として再編成し、成功させたことは大いに評価できる。 ○主催事業においては、他施設との差別化を図るために、将棋をはじめとした知的ゲームの幅広い導入を期待する。 ○企業研修での利用が口コミで広がっているが、更なる利用拡大に繋げるよう、隣接する青少年体育館及び伊野スポーツセンターと連続した研修の実施の提案などを材料に、企業訪問等による一層のPRを期待する。また、宿泊利用者だけに留まらず、施設利用者についても伊野スポーツセンターから更なる協力が得られるよう、三位一体で発展できる関係の構築をお願いしたい。 ○勉強合宿の利用拡大や親子ものづくり教室の実施などは、施設長の経験が活かされてきたが、利用者による口コミが今後益々広がることを期待したい。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの